

<日本史探究 補講②> 改新の詔 史料

・改新の詔：『1. 』に記載あるも、一部原文ではないとされている

[第一条]

其の一に曰く、昔在の天皇等の立てたまへる(2.)の民、処々の(3.)、及び、別には臣・連・伴造・国造・村首の所有る(4.)の民、処々の(5.)を寵めよ。仍りて(6.)を大夫より以上に賜ふこと、各差あらむ。

① 大王が持っている私有地 [=7.]・私有民 [=8.], 豪族たちが持っている私有地 [=9.]・私有民 [=10.]を廃止して、その代わりに(6.)という給与を与える、というもの! ← 下級役人には布帛が与えられた
→ 土地・人民は国家が所有するという(11.)制へ!

[第二条]

其の二に曰く、初めて京師を修め、畿内・国司・郡司・関塞・斥候・防人・馬・伝馬を置き、及び鈴契を造り、山河を定めよ。

② 都をちゃんと作って、都の置かれる畿内や国・郡には国司・郡司・関所が設置されることと、地方には防人などの警備兵や馬・伝馬などの連絡手段を設置することを規定。

※ 第二条の「郡」の字は原文では「12. 」が使われていたことが、藤原京跡から発見された(13.)で確認された。大宝律令(701年)などをもとに修飾されて『日本書紀』に書かれたものと考えられている。

[第三条]

其の三に曰く、初めて(14.)・(15.)・(16.)の法を造れ。
凡そ五十戸を(17.)と為し、里毎に長一人を置け。

③ (14.)を作って国民1人1人を国が把握することを目指す! 14に基づいて

(15.)を作る。← 実際に14ができたのは670年の庚午年籍から!

→ この14により口分田[班田]を支給し、税を課税するという(16.)法を作るようにしよう、という方針を示した。

6歳になったら「班田」をあげ、死んだらその「田んぼ」はまた国のものに戻す。

〔第四条〕

其の四に曰く、旧の賦役を罷めて、田の調を行へ。……

④豪族や大王がバラバラにとっていた旧来の税制を廃止して、国民に与えた田に一定の税を徴収しよう、ということ！（あくまで目標ですぐに一新されたワケではない）

改新の詔は、①公地公民制 ②地方制度 ③班田收授 ④税制の4項目からなる！

問(1)乙巳の変の後の一連の改革のことを？ ()

問(2)(1)に際し、孝徳天皇は都をどこに移した？ ()

問(3)(1)で高向玄理と旻が就いた役職は？ ()

問(4)(1)で内臣に就任した人物は？ ()

問(5)次の史料を読んで各問いに答えよう。

其の一に曰く、昔在の天皇等の立てたまへる子代の民、処々の(A)、及び、別には臣・連・伴造…の所有る(B)の民、処々の(C)を罷めよ。仍りて(D)を大夫より以上に賜ふこと、各差あらむ。

(ア)(A)～(D)に入る語は？

A=() B=() C=() D=()

(イ)この史料に記されている、土地と人民は国家が所有するという制度を何と
いう？ ()制

(ウ)この史料が出された年は？ ()年

(エ)この史料の名称は？ ()